

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立梅香中学校 学校協議会

1 総括についての評価

PTA 活動や学校行事が活発に実施されている。学級委員長と生徒会が主となる活動の新入生学校見学会、体育大会、文化発表会、合唱コンクールや、一泊移住、職場体験、修学旅行などの校外活動においても、子どもたちの生き生きとした姿を見ることができ保護者・地域の励みとなった。引き続き、子どもたちの成長のため教育活動を進めてほしい。

2 年度目標の評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標であるいじめ事案、不登校にかかる指標について、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の最も肯定的な回答は81.7%で本校の昨年度よりより上回る結果となった。引き続き人権教育を中心に目標値に近づける指導を進める。不登校生徒も全国的に増加傾向であり本校も同様である。要因は、家庭に起因する2年生の不登校傾向の生徒の欠席増加にある。教育相談の実施や日々の家庭訪問など生徒とのつながりを深め、子どものサインを見逃さないよう強くかかわっていく指導を、引きお願いする。

年度目標：【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学校の独自の目標「授業はわかりやすい」の値は前年度に引き続き8割以上の生徒が肯定的回答をしており、教職員の授業への工夫が生徒に評価されている。若い教職員が増え、教員のICT使用率も上がり楽しい授業が増えている。また、ICTの活用により効率的な授業が行われ、時間短縮により重点個所の反復や興味関心の湧く授業展開ができています。引き続き、達成感や充実感をもち自己肯定感が育めるように工夫改善を行っていくよう指導をお願いしたい。

全国体力・運動能力運動習慣等調査の結果 女子結果が良好なのは日ごろの運動環境の要因が考えられるので、引き続き部活動指導員を活用し生徒の運動の機会を増やしていく。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

全校生徒の8割以上の生徒がパソコンを活用する日数の割合について、長期欠席の生徒が1割を超える状況もあり、目標値と離れているが、昨年より大きく向上がみられている。各教科は必要に応じて活用するなど積極的な活用はできている。教科書、ノートが中心の授業展開からパソコンを使用する工夫が見られ始めている。パソコンが身近に使用できるように、どう活用するか、いつ活用するか、また、活用にあたっての危険性もふまえて進めていく。

有給休暇の取得率は、年度末に向けて増加傾向にあり、引き続き取得の推進を行う。

3 今後の学校園の運営についての意見

子どもたちの成長のため教育活動を進めてほしい。
体力の面で向上を図ってほしい。地域でも協力は惜しまない。
引き続き不登校生徒の対応をお願いしたい。
防災について地域と連携した取り組みも検討してほしい。